



皆さんは、動物園に遊びに来た時に「なぜ?」「どうして?」
と思ったことはありませんか?

「教えて!飼育員さん!」は、来園者の皆さんからの疑問
に飼育員がお答えする企画です。

それでは早速、質問にお答えしましょう。

今回の質問はこちら。

ペンネーム: ゆいか さん からの質問
ウサギの耳って役立つものですか。
耳が使えなかったらどうするでしょうか。

ご質問、ありがとうございます。

全ての生き物は、生存に有利な体の特徴や生態を持
った個体が生き延び、子孫をたくさん残すことで進化
をしてきました。ということは、きっとウサギの耳も
役立っているはず!では、ウサギの長い耳にはどんな
理由があるのでしょうか。今日はそんなウサギの耳に
ついて解説をしていきます。

ウサギの耳には色々な役割があります。まず、周囲



の危険を察知する役割。ウサギの耳は外耳（耳のうち、
体の外に出ている部分）が大きく、音を集めやすい構
造をしています。さらに、左右別々の方向に向けるこ
とも可能です。聴力はとても優れていて、遠くの音も
聞くことが可能です。このように、ウサギは聴力の優
れた耳を使って周囲の危険にいち早く気が付くことで、
身を守っているのです。



また、耳には体温を調節する役割もあります。ウサ
ギには汗腺がなく、汗で体温調節をすることができま
せん。そこで、ウサギは細い血管が通っている耳を使
って放熱することで、体温の調整をしているのです。

このように、ウサギの耳は生き延びていくのにとて
も大切な部分です。もしも耳を失った場合、野生であ
れば捕食者などの敵に気が付くことができずに命を失
ったり、体温調節がうまくできないことで体調を崩し
たりすることがあるかもしれません。一方で、飼育さ
れているウサギの場合は、捕食者に狙われる心配がな
いため、温度管理など飼育方法が適切であれば、聴覚
以外の感覚を駆使することで生きていけることもある
かもしれません。

とっても繊細で大切なウサギの耳。触る際には特に
優しく、そっと触れてくださいね。